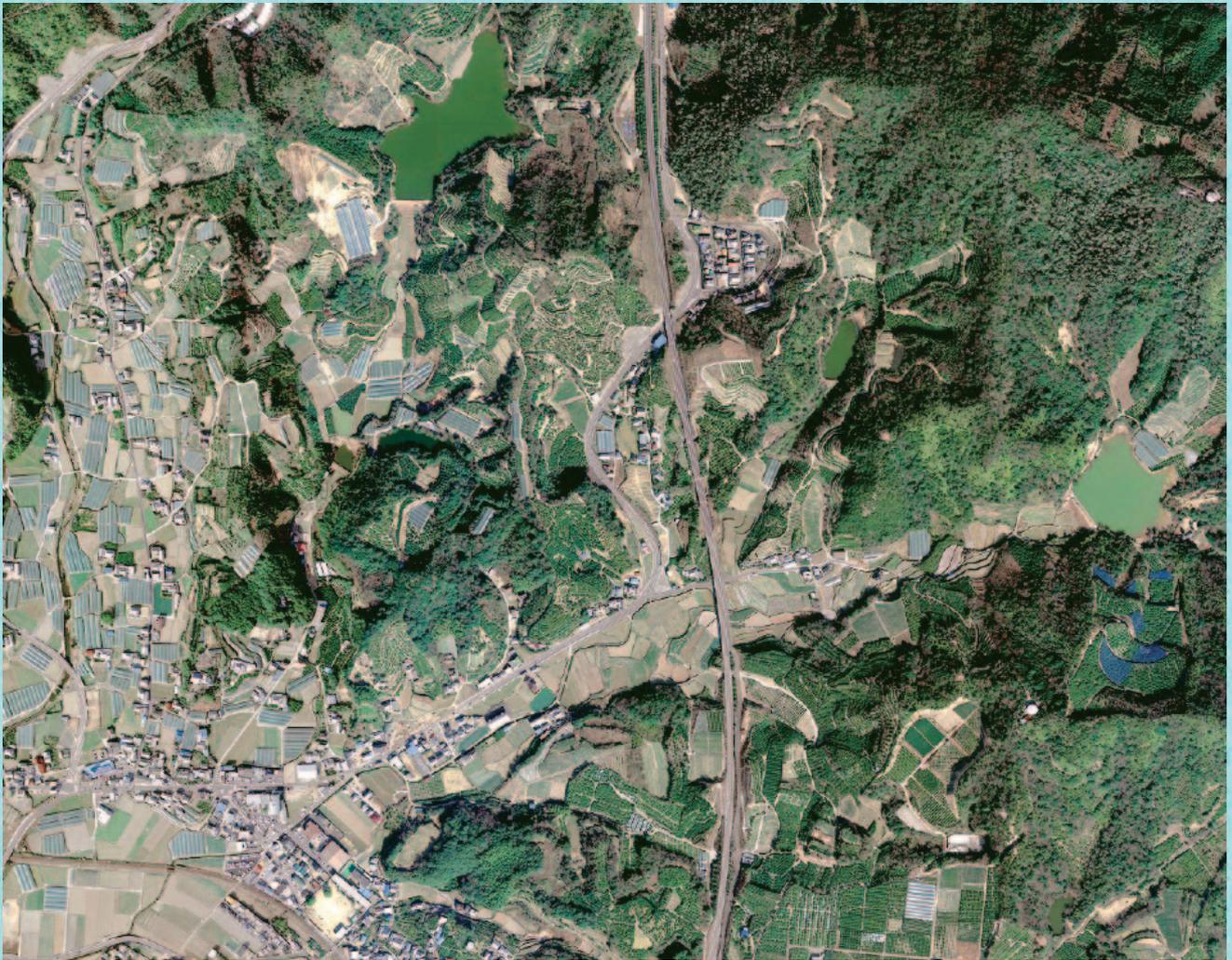


保 存 版

日高川町

ため池ハザードマップ



和歌山県

日高川町

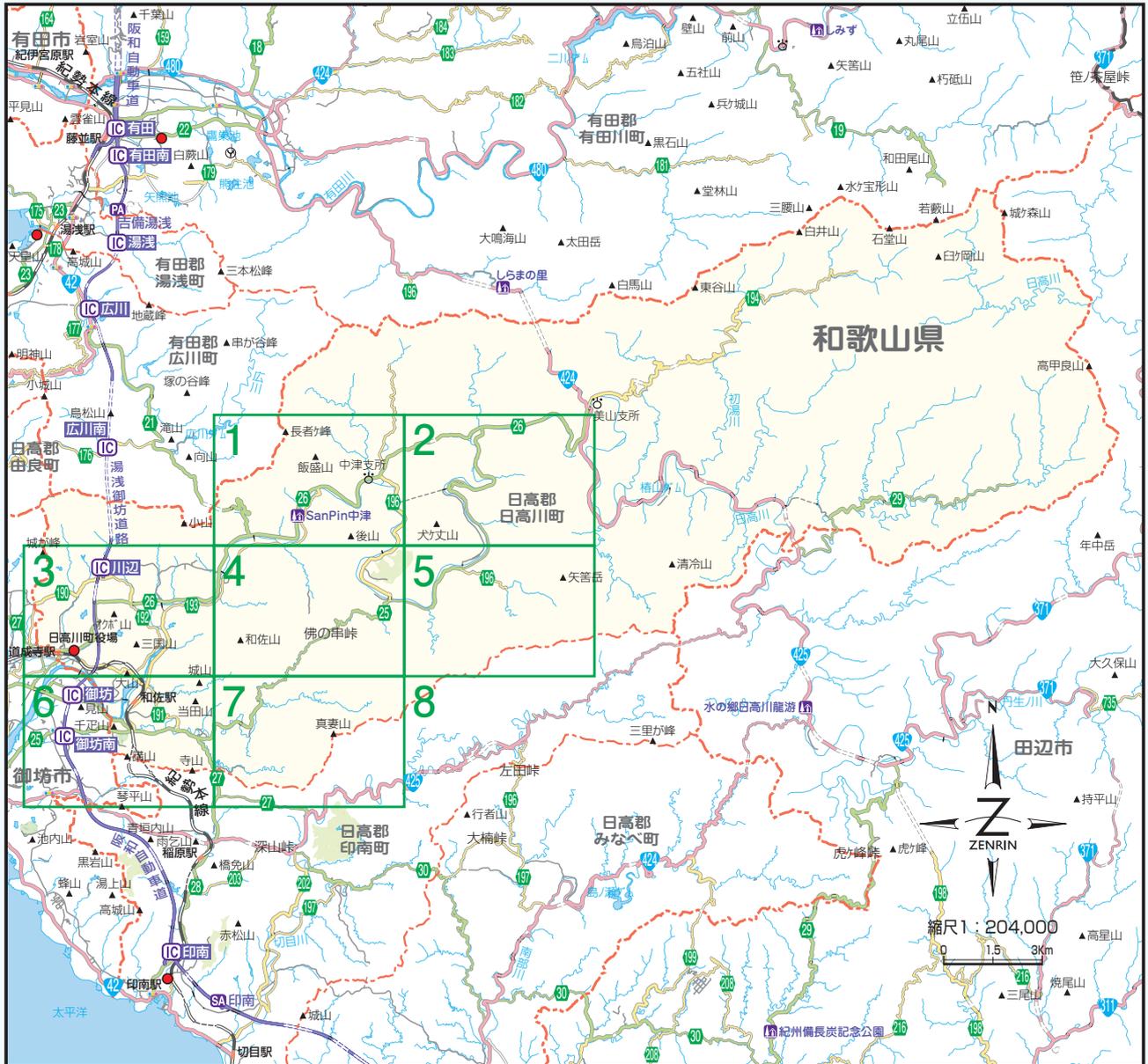
農業振興課

〒649-1324 和歌山県日高郡日高川町大字土生160

TEL: 0738-22-1700 (代) FAX: 0738-22-8779

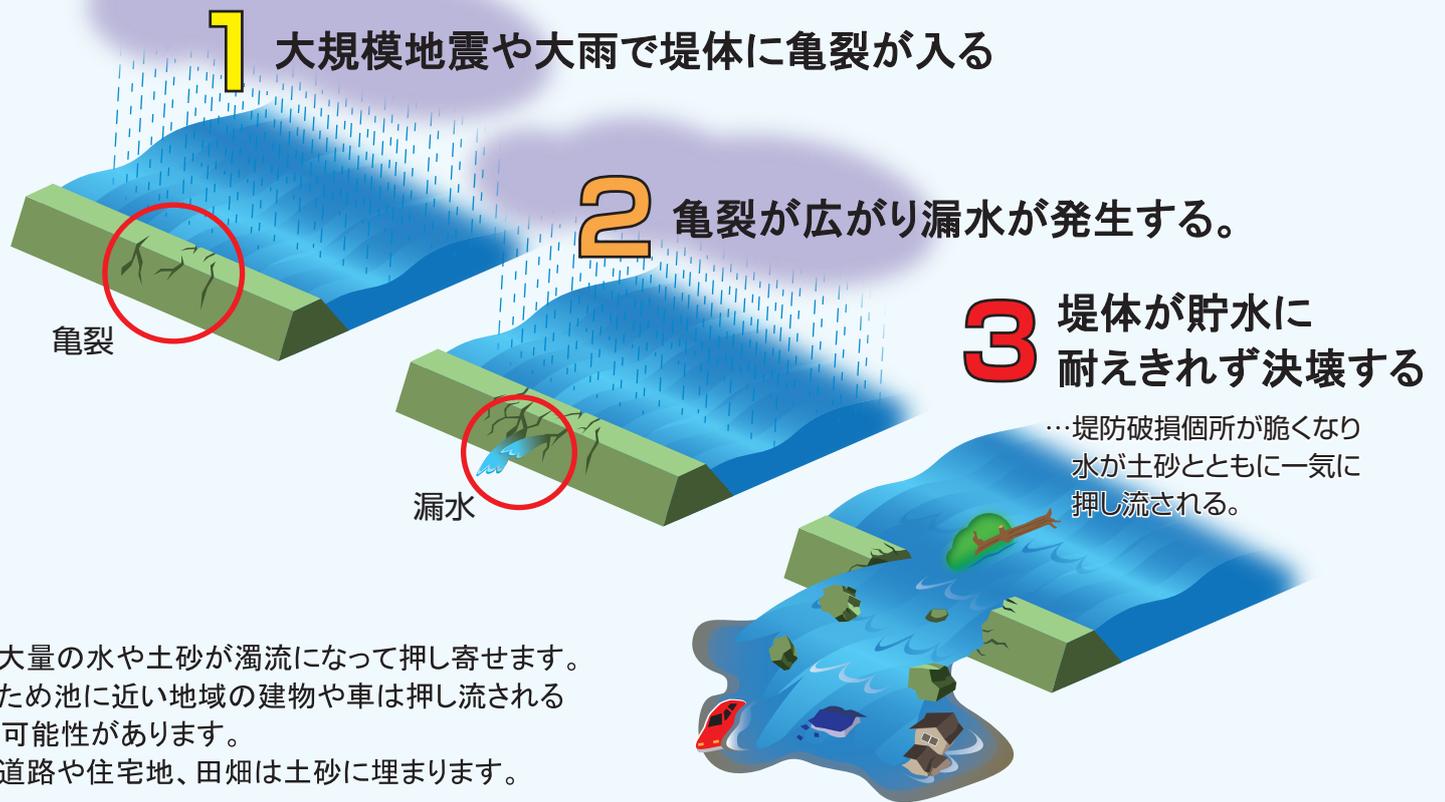
目次

ため池の決壊のおこり方と被害	1	地震発生、その時どうする?	20
危険なため池		避難準備・避難勧告・避難指示について	
日高川町ため池ハザードマップ	2~15	避難情報の入手	
避難所一覧	16 17	非常持出品	21
風水害から身を守るには	18	備蓄品	
避難のポイント		我が家の防災メモ	22
雨の強さと降り方、災害発生の目安	19	災害用伝言ダイヤル利用方法	
特別警報について			
震度階級表			



防災機関名		所在地	電話番号
日高川町役場		日高川町大字土生160番地	0738-22-1700
日高広域消防事務組合消防本部		日高町萩原930番地の1	0738-63-1119
御坊警察署		御坊市湯川町財部237番地の1	0738-23-0110
電気	関西電力株田辺営業所	田辺市あけぼの22の10	0800-777-8073
上下水道	日高川上下水道課	日高川町大字土生160番地	0738-22-4814
電話	NTT		113
	NTT(携帯・PHSからの連絡先)		0120-444-113

ため池の決壊のおこり方と被害



危険なため池

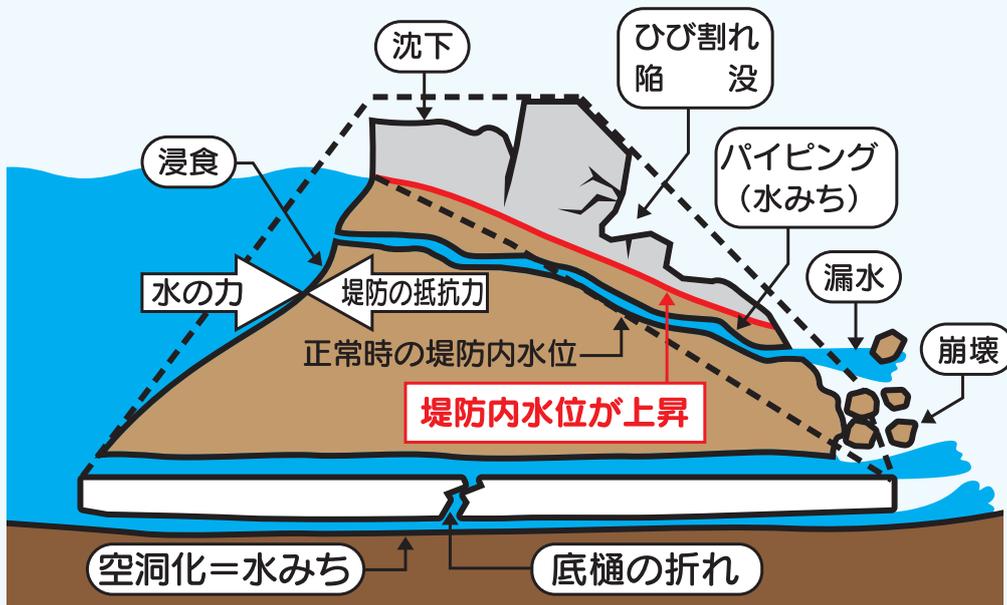
注意が必要な場合

【大雨時】

- ☆ 急激な水位上昇により流水が堤体を越えようとする場合。
- ☆ 漏水が急激に増えた場合や濁りが発生した場合。

【地震時(震度4以上)】

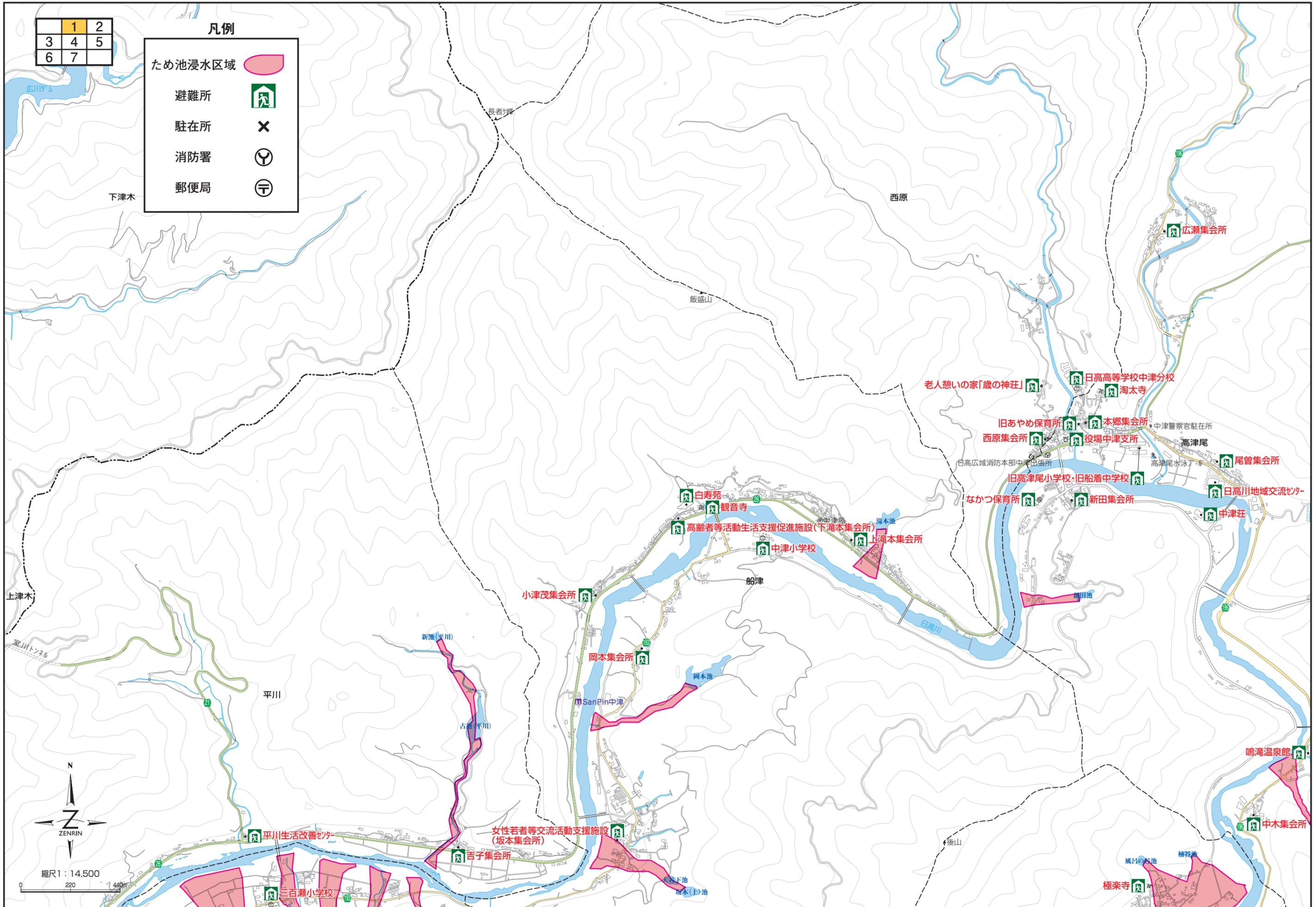
- ☆ 堤体のひび割れや陥没が発生し、急激な漏水量の増加・漏水に濁りが発生した場合。



	1	2
3	4	5
6	7	

凡例

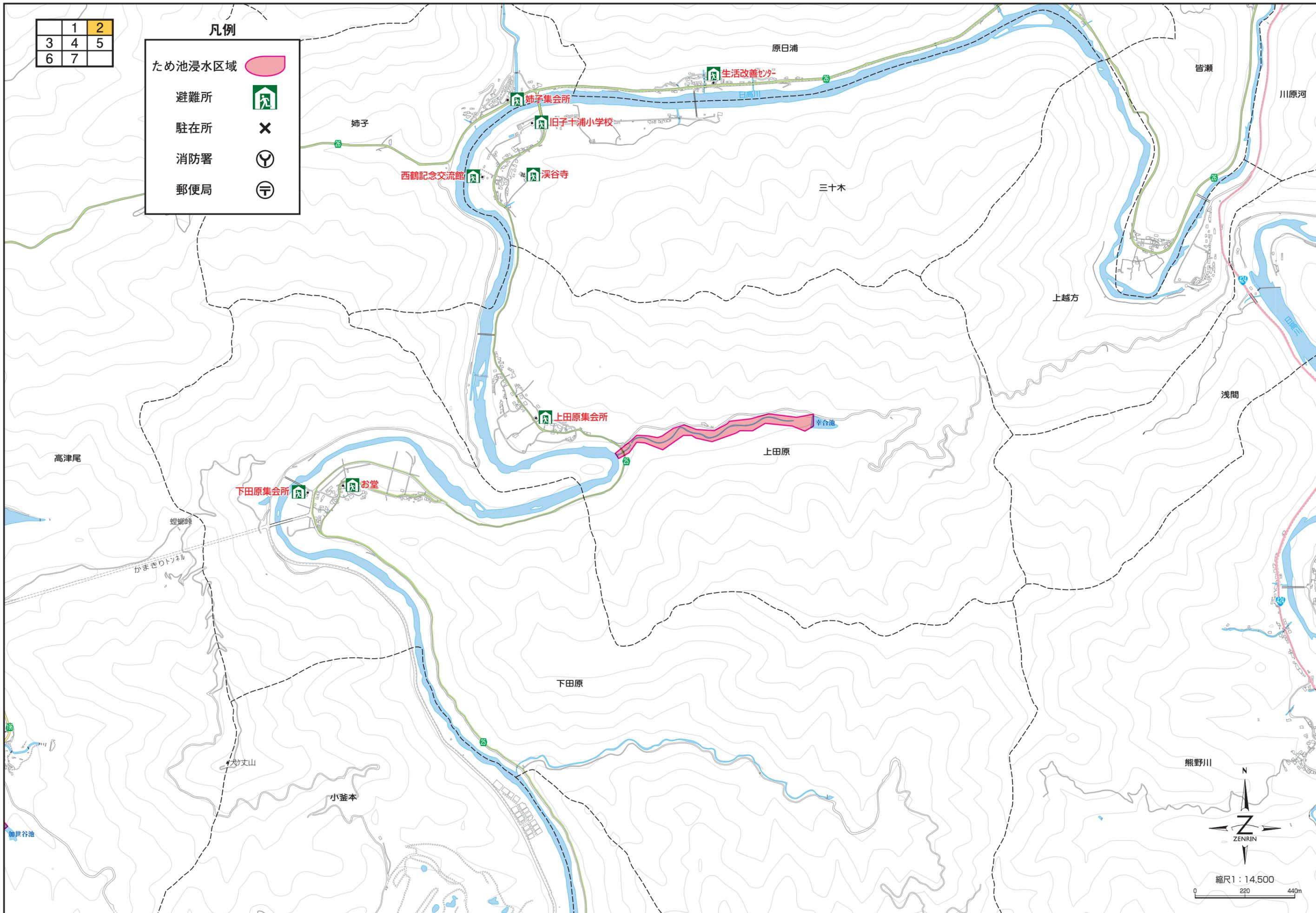
- ため池浸水区域 
- 避難所 
- 駐在所 
- 消防署 
- 郵便局 



	1	2
3	4	5
6	7	

凡例

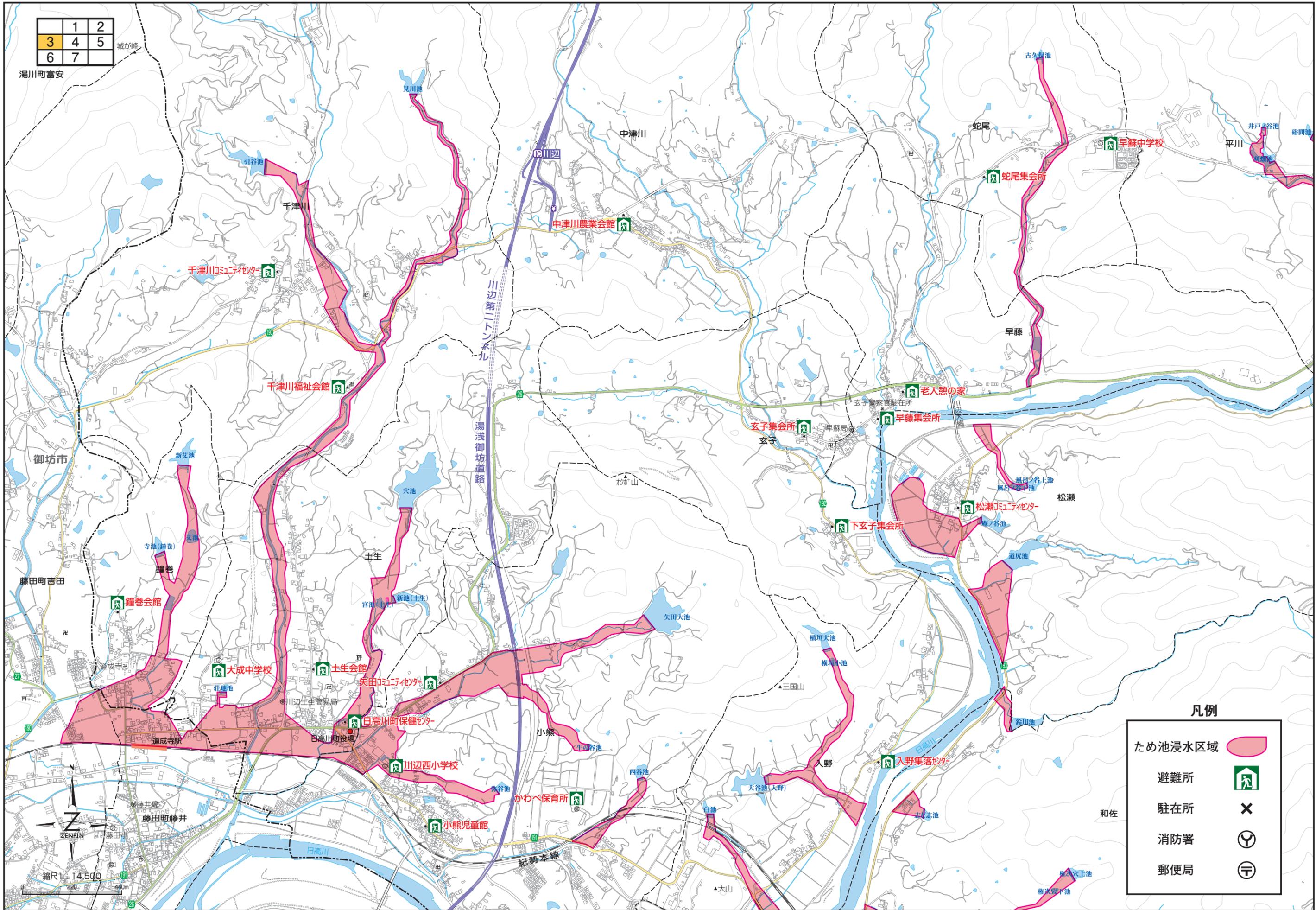
- ため池浸水区域 
- 避難所 
- 駐在所 
- 消防署 
- 郵便局 



1	2
3	4
6	7

城が峰

湯川町富安



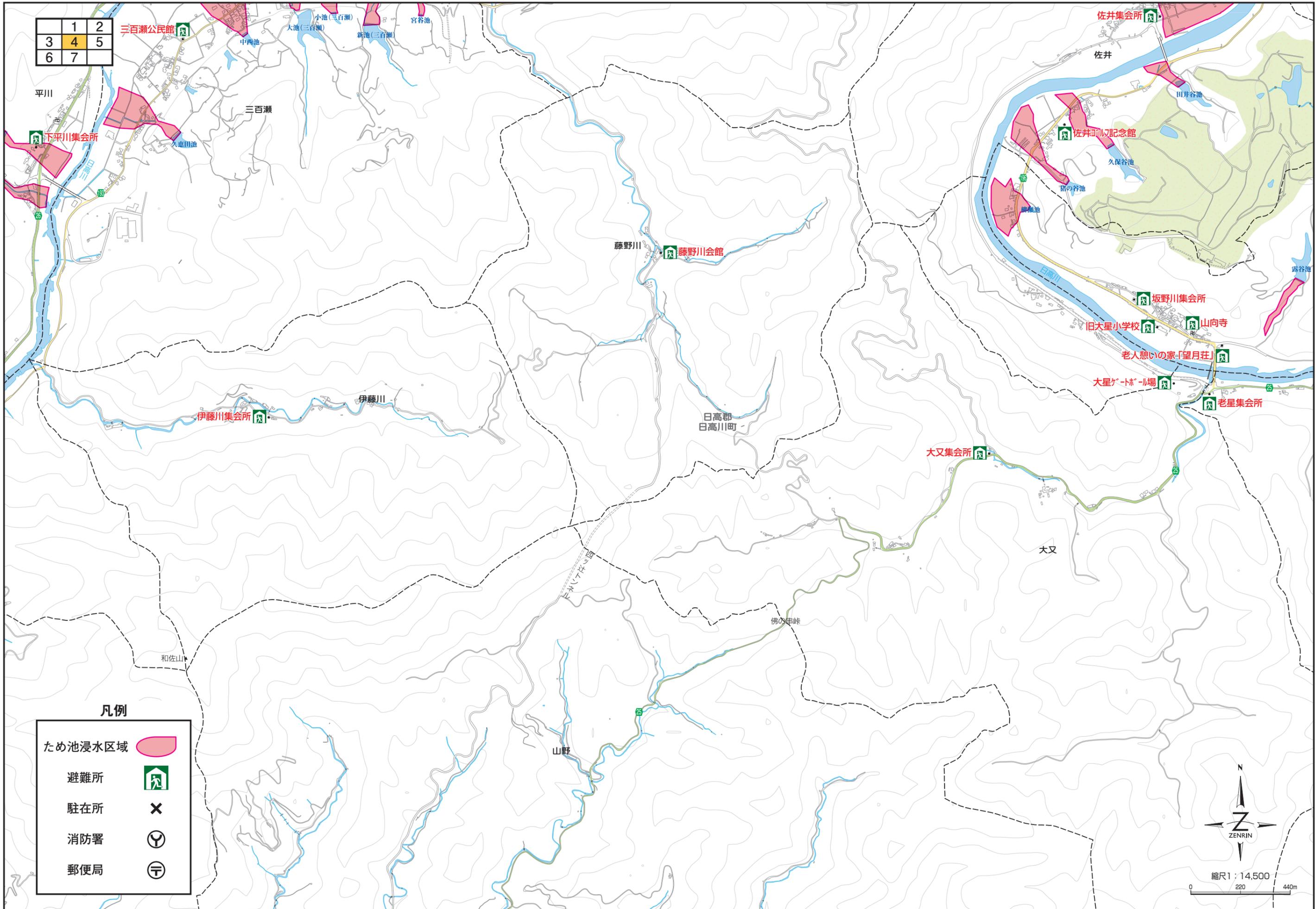
凡例

- ため池浸水区域
- 避難所
- 駐在所
- 消防署
- 郵便局



縮尺 1:14,500

1	2
3	4
6	7



凡例

ため池浸水区域	
避難所	
駐在所	
消防署	
郵便局	

縮尺 1 : 14,500

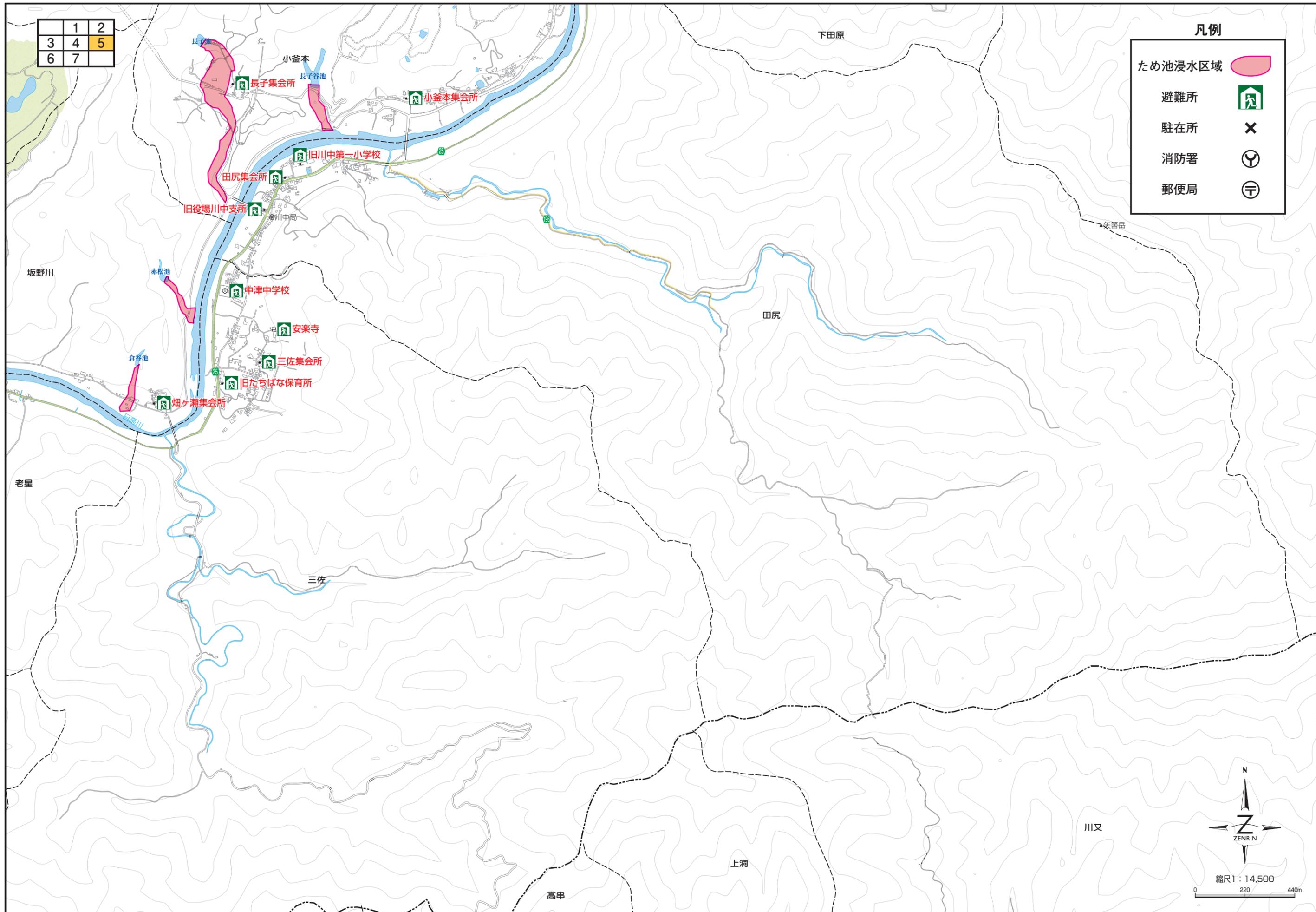
0 220 440m

ZENRIN

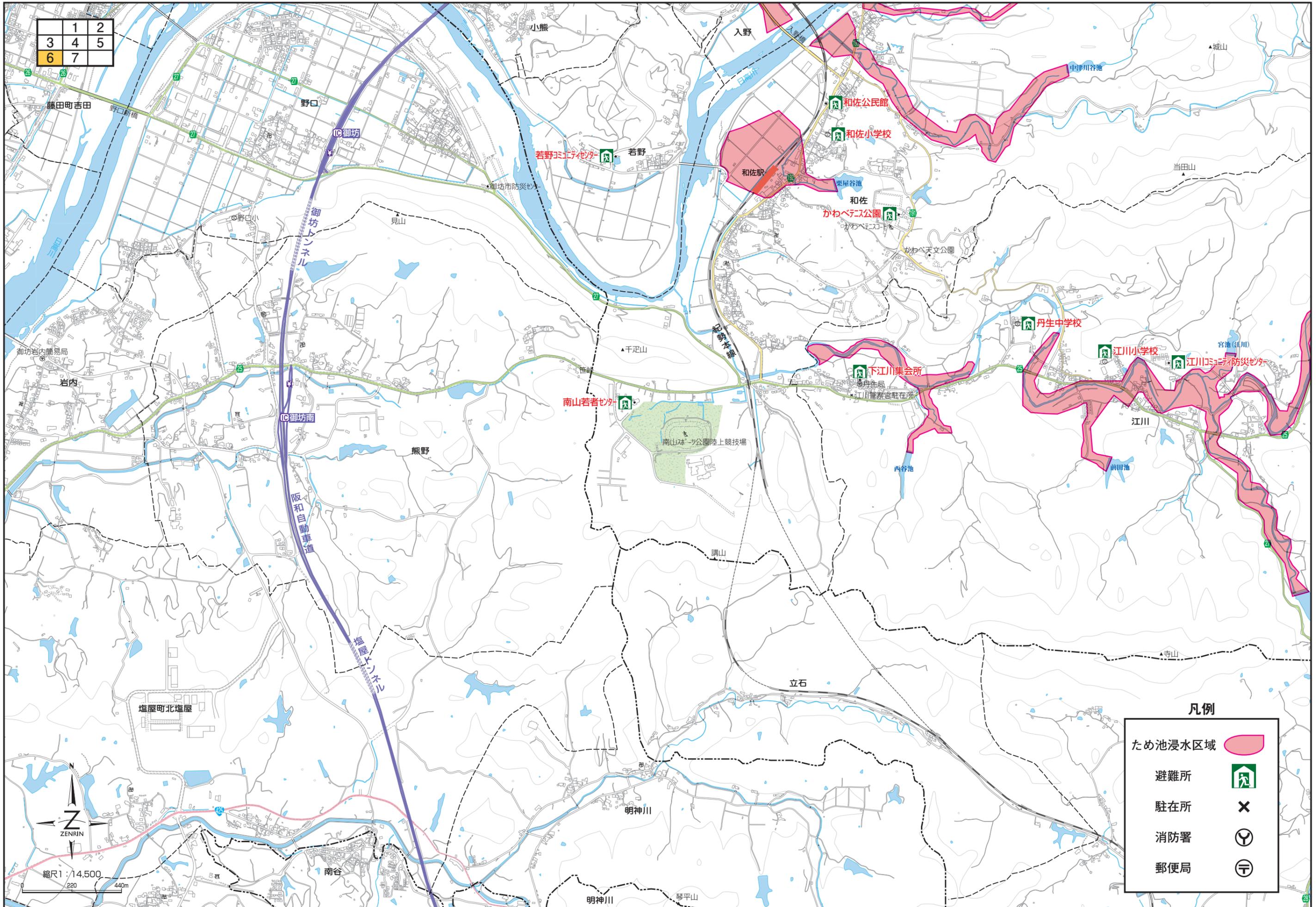
1	2
3	4
6	7

凡例

- ため池浸水区域 
- 避難所 
- 駐在所 
- 消防署 
- 郵便局 



1	2
3	4
6	7



凡例

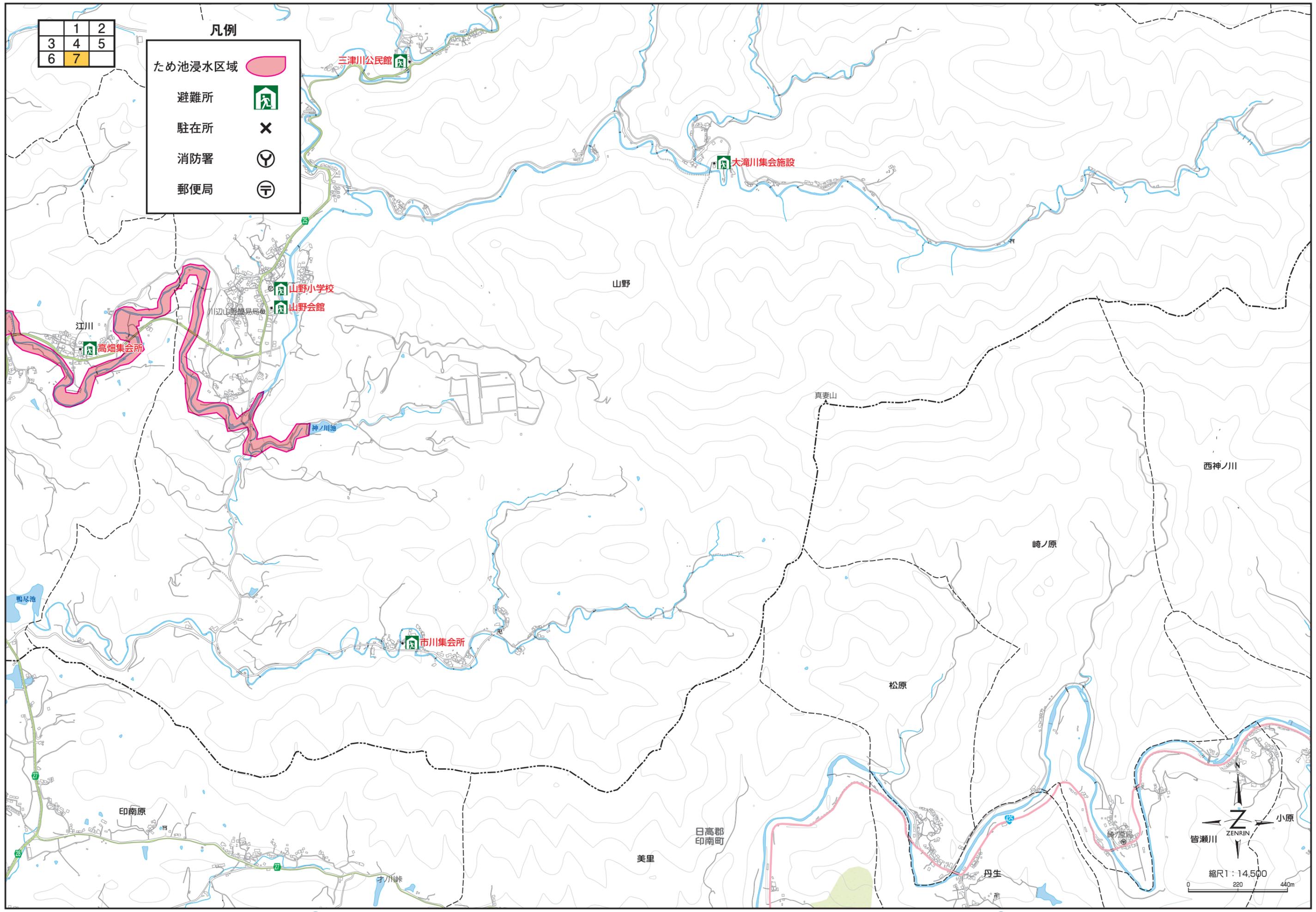
- ため池浸水区域 
- 避難所 
- 駐在所 
- 消防署 
- 郵便局 



1	2
3	4
6	7

凡例

- ため池浸水区域 
- 避難所 
- 駐在所 
- 消防署 
- 郵便局 



ZENRIN
縮尺 1 : 14,500
0 220 440m

川辺地区

番号	対象地域	名称	番号	対象地域	名称
1	中津川	中津川農業会館	30	山野	大滝川集会施設
2	千津川	千津川コミュニティセンター	31	山野	三津川公民館
3	千津川	千津川福祉会館	32	江川	江川小学校
4	鐘巻	鐘巻会館	33	江川	丹生中学校
5	土生	大成中学校	34	江川	下江川集会所
6	土生	土生会館	35	江川	高畑集会所
7	土生	日高川町保健センター	36	江川	江川コミュニティ防災センター
8	小熊	川辺西小学校	37	和佐	和佐小学校
9	小熊	小熊児童館	38	和佐	南山若者センター
10	小熊	かわべ保育所	39	和佐	かわべテニス公園
11	小熊	矢田コミュニティセンター	40	和佐	和佐公民館
12	入野	入野集落センター	41	松瀬	松瀬コミュニティセンター
13	若野	若野コミュニティセンター			
14	玄子	玄子集会所			
15	玄子	下玄子集会所			
16	早藤	早藤集会所			
17	早藤	老人憩いの家			
18	蛇尾	早蘇中学校			
19	蛇尾	蛇尾集会所			
20	平川	下平川集会所			
21	平川	平川生活改善センター			
22	平川	吉子集会所			
23	三百瀬	三百瀬小学校			
24	三百瀬	三百瀬公民館			
25	伊藤川	伊藤川集会所			
26	藤野川	藤野川会館			
27	山野	山野小学校			
28	山野	山野会館			
29	山野	市川集会所			

中津地区

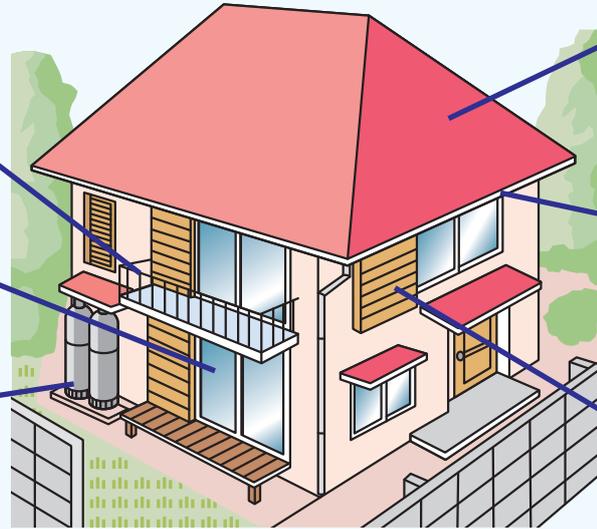
番号	対象地域	名称	番号	対象地域	名称
1	坂本	女性若者等交流活動支援施設 (坂本集会所)	30	三十木	溪谷寺
2	岡本	岡本集会所	31	三十木	西鶴記念交流館
3	小津茂	小津茂集会所	32	原日浦	生活改善センター
4	下滝本	中津小学校	33	平岩	老人憩いの家「清流荘」
5	下滝本	観音寺	34	三十井川	三十井川集会所
6	下滝本	高齢者等活動生活支援促進施設 (下滝本集会所)	35	佐井	佐井集会所
7	下滝本	白寿苑	36	佐井	極楽寺
8	上滝本	上滝本集会所	37	佐井	佐井ゴルフ記念館
9	西原	役場中津支所	38	坂野川	旧大星小学校
10	西原	西原集会所	39	坂野川	坂野川集会所
11	西原	老人憩いの家「歳の神荘」	40	坂野川	老人憩いの家「望月荘」
12	本郷	旧高津尾小学校	41	坂野川	山向寺
13	本郷	旧船着中学校	42	坂野川	畑ヶ瀬集会所
14	本郷	日高高校中津分校	43	大又	大又集会所
15	本郷	淘汰寺	44	老星	老星集会所
16	本郷	なかつ保育所	45	老星	大星ゲートボール場
17	本郷	旧あやめ保育所	46	三佐	中津中学校
18	本郷	交流センター	47	三佐	安楽寺
19	本郷	本郷集会所	48	三佐	三佐集会所
20	本郷	新田集会所	49	三佐	旧たちばな保育所
21	尾曾	尾曾集会所	50	田尻	旧川中第一小学校
22	尾曾	中津荘	51	田尻	旧役場川中支所
23	中木	鳴滝温泉館	52	田尻	田尻集会所
24	中木	中木集会所	53	小釜本	小釜本集会所
25	広瀬	広瀬集会所	54	小釜本	長子集会所
26	伊佐の川	伊佐の川集会所	55	下田原	下田原集会所
27	高津尾川	高津尾川区長宅	56	下田原	お堂
28	姉子	姉子集会所	57	上田原	上田原集会所
29	三十木	旧子十浦小学校			

風水害から身を守るには（日頃の備え）

台風や豪雨は、正確な気象情報を収集し、早くから備え対策することで、被害を最小限にとどめることができます。台風や豪雨が迫ってからの対策は危険です。日頃から周囲を点検し、自分で改善できないことは専門業者に相談するなどして、浸水や強風に備えておきましょう。

【家屋のチェックポイント】

- ◇ベランダ
 - ・強風に飛ばされそうなものは置かない
- ◇窓ガラス
 - ・ひび割れ、破損、ぐらつきがないか確認する
- ◇屋外の設置物
 - ・プロパンガスのボンベや物置等はしっかり固定する



- ◇屋根
 - ・かわらやトタンのひび割れ、ずれをなくす
 - ・アンテナをしっかりと固定する
- ◇雨どい・排水溝
 - ・つなぎ目のはずれ、塗料のはがれがないか確認する
 - ・土砂や落ち葉で詰まらせないように掃除しておく
- ◇雨戸
 - ・がたつきがないように補強する

避難のポイント

外出が危険なときは、家の2階などの少しでも安全な場所へ移動する（垂直避難）。



避難前に、ガスの元栓やブレーカーを切り、火の始末や戸締りをする。



いざという時、居場所を知らせるために、笛（ホイッスル）を持っておく。



非常持出品は必要最低限にとどめ、背負って、両手は自由に動かせるようにする。



長靴は水が入って歩きにくく危険。裸足も禁物。運動靴をはく。



道路冠水時は、側溝、水路、マンホール（ふたが外れている可能性がある）、坂道（水深が浅くても水の流れが速い）、ため池などが危険。



橋を渡らないようにする。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を慎重に歩く。



先導の人は窪みや溝を確かめるため、長い棒を杖にしながら歩く。



2人以上で避難する。家族は口でつなげて避難する。



流水や冠水の中で歩ける水深は、膝ぐらい（男性70cm、女性50cm程度）までが目安になる。それ以上なら無理をせず、高い所で救助を待つ。



増水したら、子どもは浮き袋に乗せ、乳幼児はベビーバスを船のように使う。



自動車はもちろん自転車での避難も危険なので、必ず歩いて避難する。



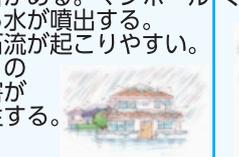
垂れ下がった電線には触らない。



隣近所に声をかけて助け合いを大切にする。病人や歩行困難な人は背負って避難する。



雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報単語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる(ハイドロプレーニング現象)	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。 	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。 

特別警報について

◆特別警報の運用が開始されました!(平成25年8月30日～)

特別警報とは、警報の発表基準をはるかに超える豪雨等が予想され、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合に、気象庁から発表されます。特別警報が発表されたら、非常事態であると認識し、ただちに**命を守る行動**をとってください。市町村からの避難勧告等に従いただちに避難所への避難や、外出が危険なときは家の中で少しでも安全な場所に移動してください。特別警報は自治体や報道機関を通じて伝えられます。テレビやインターネット、自治体から発信される情報の収集に努めてください。



震度階級表

震度	3	4	5弱	5強
揺れ等の状況	屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。眠っている人の大半が、目を覚ます。	ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物が、倒れることがある。	大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。 	物につかまらなると歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが増える。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。 
震度	6弱	6強	7	
揺れ等の状況	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。 	はわないと動くことができない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れるものが増える。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。 	耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。 	

避難時すぐに持ち出すべき「非常持出品（一次持ち出し品）」と救援物資が届くまでの自足するための「備蓄品（二次持ち出し品）」の2つの段階で準備しておく必要があります。リストを参考に、個人や家庭に必要なものをしっかり準備しておきましょう。

非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の一日をしのごために必要なものです。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。男性15kg、女性10kg、高齢の人や子どもは6kgが持ち運びの目安となります。

	チェック欄	品名	備考メモ
貴重品類	1	現金（10円玉）	10円玉は公衆電話用に。 通帳、カード、健康保険証、 運転免許証などは番号を控えた メモかコピーを用意しておく よいでしょう。
	2	預金通帳	
	3	印鑑	
	4	保険証	
	5	免許証	
避難用具	6	懐中電灯	懐中電灯はできれば一人に 一つ用意したいもの。
	7	携帯ラジオ	
	8	予備の乾電池	
	9	ヘルメット・防災ずきん	
生活用品	10	厚手の手袋	避難所生活に最低限必要な ものです。赤ちゃんやお年寄り、 障がい者がいる場合など考慮 してそろえましょう。
	11	毛布	
	12	缶切り	
	13	ライター・マッチ	
	14	ナイフ	
	15	携帯用トイレ	
救急用具	16	救急箱	救急箱には絆創膏・消毒液など。 その他ビタミン剤など日頃使っ ているサプリメントなどもある よいでしょう。
	17	処方箋の控え	
	18	胃腸薬・便秘薬・持病の薬	
	19	生理用品	
非常食品	20	乾パン	最低3日分は用意しましょう。 そのまま食べられるものが 便利です。
	21	缶詰	
	22	栄養補助食品	
	23	アメ・チョコレート	
	24	飲料水	
衣料品	25	下着・靴下	衣類は動きやすいものを選び ましょう。セーターなどの防寒 具も寒い季節には役立ちます。
	26	長袖・長ズボン	
	27	防寒用ジャケット・雨具	
その他	28	携帯用カイロ	寒い季節に役立ちます。



◇家族構成や家庭の事情に合わせ て準備しておくもの

	チェック欄	品名
必需品・貴重品		現金
		車や家の鍵
		携帯電話
		眼鏡・コンタクト用品
		補聴器
女性用品		生理用品
		鏡・ブラシ
		化粧品
乳幼児用品		粉ミルク
		哺乳瓶・洗浄剤
		離乳食
		紙おむつ・ウェットティッシュ
		着替え
		バスタオル・ガーゼ
		母子手帳
高齢者用品		ベビーカー・おんぶひも
		老春手帳
		おむつ・着替え
		持病薬・杖
		入れ歯・洗浄剤

備蓄品

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出すことや、自宅で避難生活を送る約1週間を想定して、必要な備蓄品を備えておきましょう。



	チェック欄	品名	備考メモ
食料品		レトルト食品（ごはん・おかゆなど）・アルファ化米	1人1日3リットルが目安です。1週間分を備えましょう。
		インスタントラーメン・カップみそ汁	
		飲料水	
生活用品		給水用ポリタンク	ポリタンクには日頃から水道水をためておく と、災害時に生活用水に役立ちます。
		カセットコンロ	
		ティッシュペーパー・ウェットティッシュ	ウェットティッシュは入浴できない災害時 に体がふけるなど重宝します。
		ラップフィルム	食器の上に敷けば洗う必要もありません。
		紙皿・紙コップ・割り箸	
		簡易トイレ	
		水のいらないシャンプー	
		ビニール袋	雨具や敷物、簡易トイレとしても使用可 能。プライバシー保護のため透けないもの を用意しましょう。
		ロープ	救助活動の際に使えます。
		工具セット	
		ほうき・ちりとり	ガラスや倒壊物の除去に役立ちます。
		ランタン	
		長靴	がれきなどから足を保護するために。

我が家の防災メモ（避難所を確認しておきましょう！）

家族の避難所	
第1避難所	第2避難所

家族の集合場所	
第1集合場所	第2集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校等の電話番号	携帯番号

病院など必要な連絡先を記入しましょう

名称	所在地	電話番号

名称	所在地	電話番号

災害用伝言ダイヤル利用方法

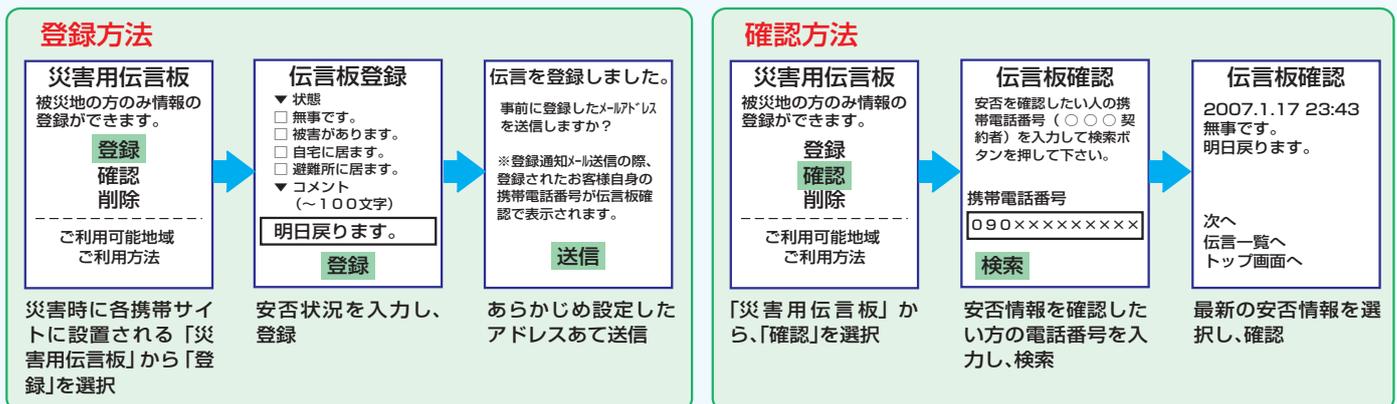
災害用伝言ダイヤルは、地震、噴火などの災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に、NTTにより提供が開始される声の伝言板です。

NTTの災害用伝言ダイヤルのかけ方



携帯電話災害伝言板の使い方

※携帯電話の会社や機種によって、利用方法が若干異なります。



この地図は、日高川町長の承認を得て同町所管の測量成果日高川町管内図(1/5,000)を使用して調製したものです。(承認番号 平成26年11月25日 日川建第K-157号)
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図及び電子地形図25000を使用した。(承認番号 平26情使、第244-A254号)」
 「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用した。(承認番号 平26情使、第242-A164号)」